

## 講座名 第5回

# 「島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』」

島尻教育事務所

### 1 講座の趣旨

(1) ハンギングバスケットの作り方の講習を通して花のある生活を楽しみ、地域づくりに生かそうとする資質を育てる。

【第5回講座】

(2) 沖縄県民カレッジ広域学習サービス修了証を授与し、受講生の今後の活動に意欲を持たせる。

【閉講式】

### 2 講座の概要

(1) 実習「花を楽しもう」  
ハンギングバスケット

(2) 閉講式

場所：南部農林高等学校

3 共催 南城市教育委員会



### 4 講座内容

回	日時	場所	内容	講師名	受講者数
5	12月19日(水) 9:00 ~13:00	南部農林 高等学校	(1) 実習4 「ハンギングバスケット」 (2) 閉講式 ① はじめの言葉 ② 修了証授与 ③ 主催者あいさつ ④ 共催者あいさつ ⑤ 会場校長あいさつ ⑥ 受講生代表あいさつ ⑦ 閉式のことば	又吉 さきえ 教諭 仲宗根 洸 教諭 南部農林高等学校 生活デザイン科	24人

### 5 成果

- ・ハンギングバスケットの作り方や多肉植物の育て方まで基本的なことが分かり、「家庭や地域でも作りたい」と意欲的な受講生の感想が多くみられた。
- ・内容豊富な講座だったが、南部農林高等学校の協力で、短時間で全員が作品を仕上げる事ができた。
- ・閉講式では、南城市教育長、南部農林高等学校長から激励のあいさつをもらい、受講生の皆さんの地域作りへ意識の高揚につながった。

### 6 課題

- ・地域づくりへ向けた具体的な取組について、一人一人の参画意識を高めるための取組の充実。

# 宮古の墓制について

宮古教育事務所

## 1 講座の趣旨

宮古には、古代の風葬墓から、中国人が作ったとの伝説がある巨石墓(ミヤカ) 昔の首長の特徴的な墓などが存在する。これらの謂われ(伝説)や歴史の変遷と 構造・築造技術について講座と現場3カ所程度の視察を通して学習する。



(1) 久貝講師による講義

## 2 講座の概要

- ①日 時 2018年5月26日(土)  
13:30~17:00
- ②学習時間 講座: 1時間  
視察: 2時間
- ③実施場所 講座: 宮古教育事務所  
視察: 市内古代墓5カ所
- ④参加者 17人  
(他に取材のため新聞社、TV局  
計3社より3人参加)
- ⑤添付物 新聞抜粋記事2本



(2) 現場視察(西ツガ墓)

## 3 共催 なし

## 4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
1	5月26日(土) 13:30~17:00	①宮古教育事務所研修室 ②古代墓5カ所	①古代墓の変遷について学習 ②学習に基づき現場視察	久貝 弥嗣 氏 宮古島市教育委員会	17人

## 5 成果

- ・時代別にまとめられ、埋葬の様式などもわかりやすく説明され、良かった。
- ・非常に整理された内容で、写真表示が多くて解り易かった。
- ・実際にバスで現場を視察できたのはとても良かった。自分だけではなかなか現地を訪れる機会がない。

## 6 課題

- ・権力者だけでなく、庶民の歴史についても知りたいとの意見が複数あるので、今後の検討課題としたい。

# 宮古のハンセン病の歴史を学ぶ

宮古教育事務所

## 1 講座の趣旨

ハンセン病は人類史上長い歴史があり宮古でも南静園に隔離する等の苦難の経験がある。

同園にて関係者から講義を受講、その後、最近開館した資料館及び、園内周辺の戦争遺跡の視察を通して、宮古におけるハンセン病の歴史を学習する。



(1) 知念園長によるハンセン病の講義

## 2 講座の概要

①日 時 2018年8月11日(土)  
13:30~17:30

②学習時間 講座：1時間  
視察：2時間

③実施場所 講座：南静園会議室  
視察：南静園資料館及び  
周辺の戦争遺跡

④参加者 18人  
(他に取材のため新聞社、TV局  
計3社より3人参加)

⑤添付物 新聞抜粋記事2本



(2) 元入所者による施設案内と体験談

## 3 共催 なし

## 4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
2	8月11日(土) 13:30~17:30	①南静園会議室 ②資料館及び周辺の戦争遺跡	①ハンセン病についての講座及び入所と戦争体験談 ②学習に基づき資料館と周辺戦争遺跡の視察	①知念 一氏 国立療養所宮古南静園長 ①知念 正勝氏 体験談：退所者の会 会長 ①上里 榮氏 体験談：ボランティアガイド ②ボランティアガイド数名が説明	18人

## 5 成果

- ・ハンセン病というのは聞いたことはあるが、実際に話を聞くのは初めてだったので良かった。
- ・生きた証人によって説明してもらえたのは、すごく伝わりました。

## 6 課題

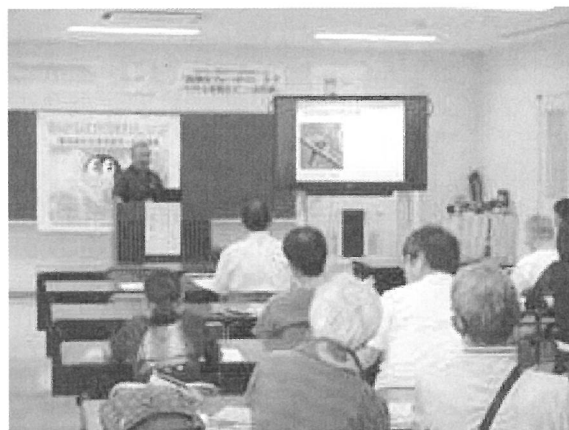
- ・「館内の案内を先にして、大まかな歴史を理解した上で、話が聞けたらわかりやすいような気がしました。」との意見があるので、今後講座の順番について検討したい。

宮古の野鳥、そしてサシバを観察しよう！

宮古教育事務所

1 講座の趣旨

毎年10月の寒露の頃になると、宮古島に北方からサシバが多数飛来し、秋の風物詩となっている。宮古の歴史におけるサシバの役割と存在意義、人との関わりについて学習し、その後、野外にて実際に観察会を実施することにより、宮古の環境、野鳥、特にサシバの保護の一助とする。



(1) 仲地講師による「宮古の野鳥とサシバ」の講義

2 講座の概要

- ①日 時 2018年10月20日(土)  
13:30～17:30
- ②学習時間 講座：1 時間  
視察：2 時間
- ③実施場所 講座：宮古教育事務所  
視察：伊良部島
- ④参加者 17人  
(他に取材のため新聞社、TV局  
計3社より3人参加)
- ⑤添付物 新聞抜粋記事2本



(2) 下地島での観察風景 (写真提供：宮古新報社)

3 共催 なし

4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
3	10月20日(土) 13:30～17:30	講義：宮古教育事務所研修室 観察：伊良部庁舎	①宮古の野鳥及びサシバと人の関わりについて ②学習に基づき伊良島にてサシバを観察	仲地 邦博 氏 宮古野鳥の会 会長	17人

5 成果

参加者から、

- ・サシバを見ることが出来て嬉しかったです。サシバは数が減っているということを知ったので解決できるように頑張っていきたい。
- ・サシバを見る目的で参加したが、むしろサシバが生息できる環境を維持することが、ひいては島の環境を守って行くことだと、良い気づきになりました。ありがとうございました。  
との意見があったので、初期目的の宮古の自然、野鳥の保護意識の向上を達成したと考える。

6 課題

- ・今回はサシバの飛来時期の終盤に当たり、数匹は観察されたが、期待していたほどの数を見ることは出来なかった。次回は、飛来時期の中盤に実施するとか、宮古野鳥の会が独自に中盤に観察会を開いているので、共同開催にするとか、検討する必要がある。

# 宮古の古文書を読む

## 1 講座の趣旨

宮古には1700年代に作成された古文書として①御嶽由来記、②雍正旧記、③宮古島記事、④宮古島記事仕次等の旧記類がある。

これらの内容を学習し、野外調査として、御嶽由来記に記載されている御嶽を巡り、宮古の古（いにしえ）の歴史に触れる。

## 2 講座の概要

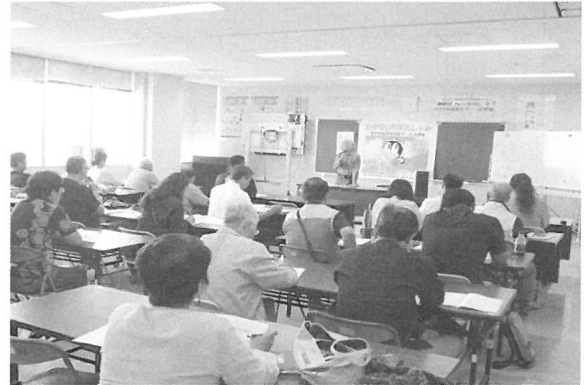
①日時 2018年11月10日(土)  
13:30～17:30

②学習時間 講座：2時間  
視察：2時間

③実施場所 講座：宮古教育事務所  
視察：市内御嶽4カ所

④参加者 19人

## 3 共催 なし



(1) 仲宗根講師による講義



(2) 仲宗根講師説明による御嶽視察

## 4 講座内容

回	日時	場所	内容	講師名	受講者数
4	11月10日(土) 13:30～17:30	講義：宮古教育事務所研修室 視察：市内数カ所の御嶽	①宮古の4つの古文書について解説 ②上記学習に基づき由来のある市内御嶽数カ所視察	仲宗根 将二 氏 宮古郷土史研究会顧問	19人

## 5 成果

参加者から、

- ・最高！大変良かったし、勉強になりました。
- ・講師、講座内容ともに、非常に魅力的。
- ・仲宗根先生のお話はすばらしく、何度でも受講したいと思いました。

## 6 課題

- ・参加者のコメントにもあるように、講師、講座内容ともに非常に魅力的で、お話はすばらしく宮古島に関するあらゆる知識を駆使して説明、質問へ回答し、これまでで最大人数の参加者を大いに満足させた。

今後もこのように、多くの人を惹きつける講師や講座内容を考えていきたい。

## 講座名 第1回

### やいま 再発見！島素材活用（薬膳料理）

八重山教育事務所

#### 1 講座の趣旨

薬膳料理作りをとおして、身近な島の野菜（素材）の豊かさ、また、長夏の薬膳料理を学び、地域食材を活用した食生活を見直し、健康の保持増進について認識を新たにする。



#### 2 講座の概要

- ① 期 日 平成30年6月10日(日)
- ② 時 間 10:00～14:00
- ③ 学習時間 4時間
- ④ 場 所 石垣市健康福祉センター
- ⑤ 受講者数 21名



#### 3 共催 なし

#### 4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
1	6月10日(日) 10:00～14:00	石垣市健康福祉センター	(1)薬膳の基礎学習 (2)長夏の特徴について (3)長夏の薬膳料理（種類や効用を学ぶ）	石井 早苗 氏	21名

#### 5 成果

- ・ 時季にあった食材を適切に使うことの大切さや、ゆでて使うこと、野菜の使い方を学ぶことができた。
- ・ 湿気を除く食材や利尿食材について知識を深めることができた。
- ・ 初めての薬膳料理で、とてもやさしい味でおいしかった。難しいイメージだったが、簡単で良かった。
- ・ 島素材の役割を意識しながらメニューを考えることの大事さを考えさせられた。
- ・ 薬膳に使用する陳皮や棗をどう使うかがわかり、体に対する作用などもわかった。
- ・ 食材が持つ効能、効果についてわかった。
- ・ 薬膳に使用する陳皮や棗をどう使うかがわかり、体に対する作用などもわかった。
- ・ 野菜のゆで方（油＋塩）についてわかった。

#### 6 課題

- ・ タイムテーブルを具体的に表示するなど、理解しやすい工夫が必要だった。
- ・ しおりには、食材の購入場所、方法等について周知するなど講師と確認した方が良い。

## 講座名 第2回

# やいま 再発見！ 紙漉を体験しよう

八重山教育事務所

### 1 講座の趣旨

和紙について、また、身近な島の材料を用いた紙漉等について学び、紙漉の工程を体験し修了書用紙を製作する。



### 2 講座の概要

- ① 期 日 平成30年7月29日(日)
- ② 時 間 10:00～16:30
- ③ 学習時間 6時間
- ④ 場 所 沖縄県立石垣青少年の家
- ⑤ 受講者数 24名



### 3 共催 なし

### 4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
2	7月29日(日) 10:00～16:30	石垣青少年の家	(1)和紙の歴史 (2)八重山の紙漉について (3)青雁皮紙の作り方	寄川 和彦 氏	24名

### 5 成果

- ・紙の歴史、製紙技術、紙になるまでの工程を初めて経験したのですべて参考になった。
- ・身近な植物、すべて自然のもので紙が作れることがわかり勉強になった。
- ・原料に多くの種類があることやトロロアオイを利用して紙を漉くこと、また、漉くことで紙の厚さが調整できることがわかった。
- ・原料の種類やネリを入れて安定させることなど、こんなに手間暇がかかるとは思わなかった。
- ・身近な環境から原材料が採取でき細かい工程を経て日本の文化の紙漉の技術が体得できた。
- ・紙漉の歴史や実際に紙漉の体験ができて貴重な時間だった。
- ・自然界の植物で紙ができるのに大変勉強になった。散策する時、注意しながら植物を見る楽しみが増えた。

### 6 課題

- ・紙漉の時間が一人一人にかかったので待っている時間に別の作業や学習することを計画すべきだった。
- ・短時間でも「原木蒸し」「皮剥ぎ」「煮熟」の体験をしたかった。
- ・全工程を体験できるような日程の工夫や材料取りへの受講生への呼びかけ。